

編集後記

日整会ではこれまで16疾患の診療ガイドラインを公開してきましたが、今年は前十字靭帯、腰痛、アキレス腱断裂、そして上腕骨外側上顆炎の4つのガイドラインが改訂されました。今後新たに2疾患が追加されるようですが、整形外科分野では、内科疾患の薬物療法のようなランダム化比較試験が困難なため、エビデンスレベルの高い研究が少ないといった問題点もありました。このため従来の運動器ガイドラインはエビデンスレベルが低く、どっちつかずの推奨文も見受けられました。

現在日本で発刊されるガイドラインの多くは、日本医療機能評価機構 Minds の『Minds 診療ガイドライン作成の手引き 2014』『Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017』に基づいて作られるようになっていきます。クリニカルクエスチョン (CQ) の作成の基準は、「治療法等の決定に際し複数の選択肢があり、そのいずれがよりよいかを推奨として提示することにより、患者アウトカム改善が期待できる場合」であり、またその CQ に関してはシステムティック・レビューの実施が求められています。ガイドラインの作成には非常に大きな労力を要しますが、より客観的にエビデンスが評価され、推奨文が決定されています。このガイドラインで推奨されるかどうかは、我々の治療法選択に

大きな影響を与えるともいえます。例えば変形性膝関節症に対する過去のガイドラインでは、ヒアルロン酸関節内注射は推奨されませんでした。その後、日本におけるヒアルロン酸の売り上げは減少したともいわれています。

さて、今回の特集は、川口善治先生ご企画の“脊椎疾患・関節疾患による慢性疼痛治療 update”です。痛みの原因には主に侵害受容性疼痛と神経障害性疼痛が挙げられますが、慢性疼痛治療においては心理社会的因子を含めたその多様性にも目を向けていかなければならないようです。痛みに関連するガイドラインは日本ペインクリニック学会から『神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン改訂第2版』、『非がん性慢性疼痛に対するオピオイド鎮痛薬処方ガイドライン改訂第2版』、痛みに関連する7学会から『慢性疼痛治療ガイドライン』など、ここ2~3年でも他学会からいくつか出版されています。慢性疼痛治療においては薬物療法の占める割合も多く、また心理的アプローチなど集学的治療を必要とする分野です。しかしやはり器質的疾患の診断と外科的治療を行いうる我々整形外科医の役割は最も大きいと思います。本特集号が読者の皆様方の診療に役立つことを期待します。

(石橋恭之)

「整形・災害外科」第62巻 第11号 (10月号) 2019年10月1日発行 (毎月1回1日発行) 定価 (本体 2,500 円 + 税) 年間購読料金 定価 (本体 39,400 円 + 税) 〔年間13冊 (臨時増刊号、増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 日本医学広告社 TEL 03 (5226) 2791
--	--

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。